

ご挨拶

明けましておめでとございます。

昨年、英語を公用語にと宣言した企業が注目を集めました。明治初期、西洋の技術を取り入れた会社の取締役会は、英語で行われていたと聞いた記憶があります。以来、百有余年、日本の発展とともに、国内事情を意識する内向き志向が定着してしまいました。最近では商社でも海外への赴任を断る社員が増えているようです。また、悲観論を展開する方が知的にみえるという知識人の思い込みもあり、日本の行く末を危ぶむ論調がまかり通っています。

本当に日本の将来は暗いのでしょうか？

16世紀、インド、マラッカ、日本への布教に生涯を捧げたフランシスコ・ザビエルは、日本人の資質を高く評価したと伝えられています。明治の岩倉使節団は、その立ち居振る舞いが称賛を浴びました。武士道や礼節を重んずる日本人の気質が、第二次世界大戦後の苦しい時期を一致団結して乗り越え、世界に誇る安全、安心な経済大国を作り上げました。

月以外の惑星の物質をはじめ持ち帰るといふ「はやぶさ」の快挙は、記憶に新しいところ

です。クールジャパンの愛称で、日本の文化にも熱い視線が注がれています。アジアの時代が叫ばれる今日、アジアの技術文化のリーダーとして、日本が存在感を発揮できる領域は極めて大きいものと考えます。

インテックは創業以来、コンピュータ・ユーティリティを標榜し、ITの活用により、社会の発展に尽くすことを社是としてきました。昨年は、富山県に新たな情報拠点「インテック万葉スクエア」を開設しました。環境と歴史ある地域の伝統との調和を図ったデータセンターです。東京電力と合弁の(株)アット東京、北陸電力との(株)パワー・アンド・ITなど、クラウド時代に対応した安全、安心なサービスの提供に努めています。また、海外事業部を新設し、「インテック上海」を設立しました。今後もアジア対応を加速させていただきます。

情報技術を追求め、お客さまの競争力向上に全力を挙げる。24時間365日無停止の高信頼サービスを提供する。海外に目を向けつつも、地域社会との共生は忘れない。インテックの基本姿勢に変化はありません。今年も変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



株式会社インテック
代表取締役社長
金岡 克己